



武蔵野市長

松下玲子通信 <第8号> 2022/1/20

松下玲子を応援する会 E-mail: reiko@matsushita.name

FAX: 0422-50-0697

〒180-0006 武蔵野市中町 1-2-3 ミタカハイム 501

2期目にあたって：公共の役割を果たし、コロナ禍を乗り越える

武蔵野市長 松下玲子

昨年、10月3日に行われました武蔵野市長選挙におきまして、市民の皆さまのご信任を賜り、引き続き市政を担わせていただくことになりました。改めて私に課されました使命と責任の重さに身の引き締まる思いです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、わずか2年の期間で社会が一変しました。あたりまえだと思っていた日常生活が、決してあたりまえではなく、かけがえのないものであるということを知られました。コロナ禍、コロナ災害からいのちを守るための感染症対策と、日々の暮らしを支えるための経済対策を両立し、コロナ対策を進めています。新型コロナウイルス感染症対策本部を2020年1月に設置以降、会議開催回数は80回を超え、めまぐるしく事態が変容する様々な課題について協議を重ね、対応してまいりました。

コロナ対策に取り組む中で、改めて基礎自治体にはいのちと暮らしを守る代えがたい役割があることを再認識しています。いのちを守るセーフティーネットとして、これからの市政運営の中でもしっかりと最後の砦としての公共の役割を果たし、皆さまと力を合わせて、この難局を乗り越えたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

圧倒的な支持を得た松下市政の継続。2期目の松下市長をさらに支援！

松下玲子を応援する会世話人代表 宮子あずさ

なかなか収束しないコロナ禍のなか、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ご報告が遅くなりましたが、昨年10月3日投開票の武蔵野市長選挙において、松下玲子市長(無所属。立憲民主党、共産党、社民党、れいわ新選組支持)は、2期目の当選を果たしました。得票は34,096票。対立候補だった鹿野晃氏(無所属、自民党・公明党推薦)の16,430票、深田貴美子氏(無所属)の7,025票を合計しても、遠く及ばぬ、圧勝でした。これは何より、待機児童ゼロに代表される、公約を実現する、着実な市政運営への評価だと言えるでしょう。

コロナ禍での選挙は非常に難しく、私自身選挙対策本部に関わりながら、コロナにばかり目が向きがち傾向に不安がありました。しかし、武蔵野市民は、4年間の市政を評価する冷静な目を失わず、松下市政の継続を選びました。市民の良識ある判断に心から感謝しております。

2期目をめざすにあたり掲げた「いのちを守り育む武蔵野を！」のスローガン、それを実現する9つのまちづくり宣言の1つに、「多様性を認め合い、平和と文化を育むまち」があります。支援の輪をさらに広げ、多様な立場を生きる皆さんとともに、松下市政2期目をさらに支えて参りましょう。

皆さまにご支援いただき、武蔵野市長としての2期目の任期が始まりました。昨年秋の市長選挙では、1期目の4年間の任期を振り返り、2期目に向けた取り組みをお約束しました。1期4年間のほぼ半分、約2年間コロナ禍の取り組みや、皆さまとお約束をした公約実現等、一定ご評価をいただけたのではないかと考えています。

新たな4年間も続くコロナ禍の対応や公約実現に向け、焦らず奢らず、謙虚な気持ちで取り組みを進めていきたいと思えます。皆さまのご意見やご要望を是非お聞かせ下さい。どうぞよろしくお願い致します。



■コロナ禍の取り組み～感染症対策と経済対策の両立～

昨年の7月、8月は、まさに感染爆発ともいえる状況の中、感染しても入院や入所が叶わず、自宅療養を余儀なくされる方が激増しました。武蔵野市でも入院調整中の方も合わせると1日400人を超える方が自宅療養をされている日がありました。8月に都内で自宅療養中に亡くなられた方は21名もいる事実を重く受け止めなければなりません。

多摩府中保健所管内の6市長による都知事への要望で、調布市に酸素・医療提供ステーションが速やかに開設されました。市長会を通じ要望を続けてきた、自宅療養者支援のための感染者の個人情報の共有もようやく実現し、9月に立ち上げた自宅療養者支援センターから市内の自宅療養中及び入院調整中等の方々に対して、直接支援の案内ができるようになりました。

昨年秋から冬にかけては感染者数が減少し、武蔵野市内では新規感染者ゼロが続きました。今年に入り、感染力が極めて強いオミクロン株の流行の兆しもあり、感染者数が増加傾向にもあります。コロナワクチン2回目接種を終えた方々への3回目接種は1月21日から始まります。基本的な感染防止対策の継続に加えて、希望する方々へのワクチン3回目接種を安全で確実に進めてまいります。

地域経済と市民の皆さまの暮らしを支えるための経済対策、暮らし地域応援券第2弾が始まります。昨年実施時の課題も踏まえ、更なる改良改善を重ねた上で実施します。お届けした応援券、是非皆さまが応援したいお店で割引券としてご使用いただきたいと思います。

■武蔵野市コミュニティ構想から50年、市民参加を振り返る

昨年末、武蔵野市コミュニティ研究連絡会・武蔵野市主催で開催されたコミュニティ構想50周年記念シンポジウムで、元武蔵野市職員の岩手県立大学名誉教授 天野巡一氏から、「市民参加は議会制民主主義の否定ではないか？」という、今から50年前の武蔵野市議会での議論を伺いました。1971年に第一期長期計画で「武蔵野市コミュニティ構想」が提起され、自治体の課題解決のために市民参加システムの形成や、地域生活単位(コミュニティ)の構成が掲げられ、その後コミュニティと市民参加が議論され、市民参加には様々な批判が起きたとのことでした。

今では武蔵野市で市民参加に異を唱える人はいないと思いますが、当時の行政からは執行権の侵害ではないか、議会からは議会制民主主義の否定ではないか、市民からは執行権、行政権の放棄ではないか、と市民参加に内外から批判が起きたそうです。

今から50年前、武蔵野市政の課題解決のため市民参加という新しい手法を取り入れる時には、様々な苦労や並々ならぬ努力があったのだという事を知りました。内外から批判がおきた市民参加は、今では武蔵野市自治基本条例で自治の基本原則のひとつとして明文化されています。市は、市民の市政に参加する権利及び市民が市政に参加する機会を保障し、政策等の立案、決定の各段階において、市民参加の手続きを取るよう努めることを条例に明記しています。

新しい手法を取り入れる時、新しい事を始める時には、様々な批判が起こる事は、50年前も今も変わらないのだと気付きました。そして大切なことは、現在と未来の武蔵野市民にとって市民自治を推進するためにより良い選択をすること、そうしなければならない、と改めて思いました。武蔵野市住民投票条例は市民参加の手法を増やすためのものです。そして住民を国籍で分けることなく、同じ街で暮らすコミュニティの一員として、共に街の課題解決やより良いまちづくりに取り組むためのものです。

■ 武蔵野市住民投票条例市議会で賛成少数(11)、反対多数(14)で否決

昨年、第4回定例会に上程した武蔵野市住民投票条例は否決となりました。住民投票条例制定に向けてご尽力いただきました皆さま、様々ご意見をいただきました皆さまに感謝申し上げます。合わせて、私自身の努力不足をお詫びします。申し訳ございませんでした。

自治基本条例の懇談会から検討を重ね、2020年の4月に武蔵野市自治基本条例施行、住民投票条例の骨子案、素案・アンケート・パブリックコメント、議会への行政報告等説明を重ねてきました。議会や市民の皆さまから更なる意見を伺った上で議論が必要であるという議会の決定を重く受け止めています。

投票資格者の国籍を問わず、日本国籍も外国籍も同条件としたことが、武蔵野市内のみならず全国的に大きな注目を集める結果となりました。条例否決後の現在も、新聞や雑誌、ネットメディア等のニュースに取り上げられています。これほど大きな議論となったことにより、武蔵野市での市民自治、民主主義、人権問題について、改めて一人ひとりが考え議論を行うことにつながりました。武蔵野市が目指す市民自治や共生社会の実現に向かうためのチャンスとも捉えることができるのではないのでしょうか。私はそう捉えたいと思っています。

武蔵野市第六期長期計画に掲げた、「誰もが安心して暮らし続けられる 魅力と活力があふれるまち」に向かって、困難な課題にも果敢に挑戦していきたいと思っています。そのためには、これまで以上に市民の皆さまに市政情報を伝え、ご意見を聞き、広報公聴に努めてまいります。難しい行政用語をどうしたら市民の皆さまに伝えられるか、実際に伝わるか、試行錯誤しながら努力を重ねていきたいと思っています。多様性を認め合う、支え合いの社会を実現するために、誰も取り残さず、差別や偏見のない、平和で自由に持続可能な共生社会を武蔵野から未来へつないでいきたいと思っています。

新春の集い(市政報告会)中止のご案内

新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、2021年に続き、2022年の新春の集い(市政報告会)を中止いたします。市政報告会を開催の際には、改めてお知らせいたしますのでよろしくお願いいたします。皆さま、新型コロナウイルスはもちろん、インフルエンザなど体調管理にはお気をつけてお過ごし下さい。

ご入会とご継続・寄付のお願い

「松下玲子を応援する会」は、憲法・平和・基本的人権が尊重される社会および住み続けられるまち武蔵野市の実現を目的とし、会報の発刊、動画の作成、講演会の開催、会員による会合の開催、その他本会の目的を達成するために必要な事業を行います。この目的に賛同する個人で、新規入会ご希望の方は住所、氏名、連絡先をご連絡頂き、お申込み下さいますようお願いいたします。初回年会費 2,000 円納入確認後に領収証と規約をお届けいたします。

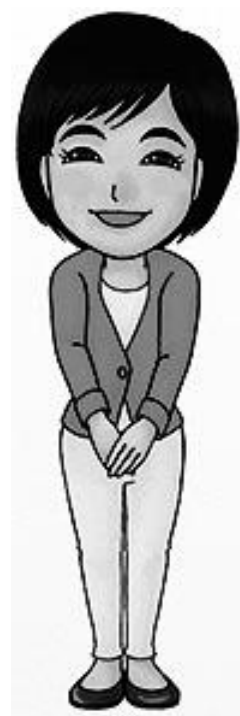
ご継続の方は継続会費の納入をお願いいたします。継続会費領収証をご希望の方は会費納入時に通信欄等にてお知らせ下さい。

この趣旨にご賛同いただき、ご入会・ご継続賜りますよう心よりお願い申し上げます。

～松下玲子を応援する会～

住所：〒180-0006 武蔵野市中町 1-2-3 ミタカハイム 501

FAX: 0422-50-0697 メール: reiko@matsushita.name



松下玲子を応援する会は、皆様からの会費と寄付で運営されています。

- 寄付にご協力いただける方も、同封の払込取扱票にてご送金下さいますようお願いいたします。なお、本会への寄付は、寄付金控除の対象にはなりません。銀行ご利用の場合【三井住友銀行 三鷹支店 普通 7103886 松下玲子を応援する会】へ。領収証をご希望の方は、払込取扱票の通信欄等にてお知らせください。
- 事務所には担当者が常駐していないため、お返事に時間を要します。ご容赦ください。

<編集後記>

新型コロナウイルスの感染が再拡大しています。残念ながら、新春の集い(市政報告会)を中止することになり、住民投票条例が否決されるまでの経過をお伝えすることができませんでした。そのため、急遽別刷りを作成し、制定を願った市民の立場から書かせていただいております。是非ご覧いただければと思います。皆さま、くれぐれもご自愛くださいませ。
(世話人代表 宮子あずさ)